



サルビア

令和3年9月3日

第45号

電子黒板が導入されました

2学期から各クラスに電子黒板が導入されました。授業での活用が早速始まりました。



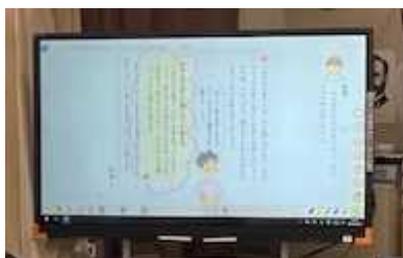
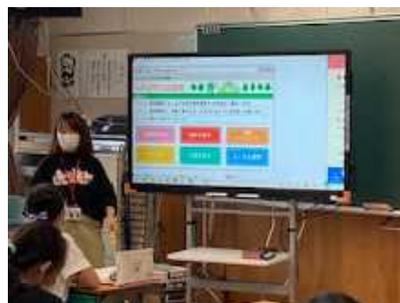
サルビア2の授業風景

算数の時間、「分数の約分」の練習問題を児童が電子黒板に書いて解いていました。

写真は担任が答え合わせをしているところです。手持ちのペンの色を変えて、○付けもできます。

6年生の授業風景

国語の時間、教科書を映し出しています。「ここに書いてあるね」が一瞬で伝わります。大切なところをアップで映し出すこともできます。



4年生の授業風景

国語の時間、こちらも教科書を映し出しています。大切なところを線で囲んでいます。

私の若い頃、模造紙に教科書の教材文を書き写して黒板に貼っていました。拡大コピーが職員室に入ったときはうれしかったです。実物投影機で教科書を映すようになり、「時代は進んだなあ」と思ったのもつかの間、電子黒板や一人一台のタブレット端末の活用で更に授業は変化しつつあります。機械を使うのは人です。「どのような使い方をすれば子どもたちに力を付けることができるか」を考えることが大切です。軌道に乗るまで試行錯誤ですが、ワクワクします。

歯みがきも感染症対策



学校では、休み時間や体育時に熱中症対策として距離を確保してマスクを外すときがありますが、給食時以外は、原則マスク着用ですごしています。

給食は黙食です。先日給食の時間に低学年のクラスを見て回ったとき、とても静かに食べていたので感心しました。

「みんなおいしい?」「うん、うん。」(うなずきで答えてくれます)

「とても静かでえらいね。」「うん、うん。」(またまたうなずきです)

「なぜ、静かに食べるかわかる?」「うん、うん。」(大きなうなずき)

一番最後の質問が一番聞きたかったことです。子どもたちがちゃんとわかってくれていて安心しました。

さて、もう一つマスクを外す場面として「歯みがき」があります。

学校医師会からは「感染予防には口腔健康管理も大切であるため、感染対策を行いつつ、給食後の歯みがきを行うことが重要」と見解が示されています。学校では、以下の内容をクラスで指導し、写真の啓発資料を各水道に掲示します。

給食後の歯みがきスタイル

- ①水道の密を防ぐ。
- ②歯みがき中はしゃべらない。
- ③歯みがき中は口を閉じる。飛沫が飛ばないように口を手でおおう。
- ④うがいは少ない水で。はき出すときは低い位置からゆっくりと。
- ⑤歯ブラシはよく洗ってからしまおう。



タブレット端末の持帰りに向けて

9月1日付けの学校からの通知でもお知らせしたとおり、タブレット端末の持帰りが始まります。同意書の提出、タオルの準備、接続の確認などご家庭にご協力をいただくことも多くなります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



教育DX(デジタルトランスフォーメーション)推進スタッフの宮川さん。1年生のタブレットにパスワードを打ち込む作業をしています。

タブレットの使用が円滑にスタートできるよう準備をしてくださっています。